



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和4年 10月7日(金)

国道7号能代バイパス

木製防護柵塗装イベント開催 編

国道7号能代バイパスの能代港入口交差点～豊祥岱交差点区間に、木製防護柵が設置されています。木製防護柵は設置から11年が経過し塗装がはがれています。そのため、6年前から耐久性向上と景観美化を目的に、ボランティアの手で防護柵を塗り替える塗装イベントを始めました。

昨年はコロナ禍で開催できませんでしたが、5度目の開催である今回は、一般参加のボランティアの方の他に、能代市立南中学校の1年生が前回開催から引き続きボランティアに参加してくださいました。

能代市南陽崎の黒松ハウス前に集合し、13時頃に開会式を行いました。開会式では、NW能登会長の挨拶の後、塗装の作業説明・注意事項を確認して、記念写真を撮影。その後は担当の防護柵塗装箇所へと移動して塗装を開始しました。

作業は防護柵についている汚れを布できれいに拭き取り、防腐や防カビ・害虫予防効果がある木材保護塗料を使い、担当の塗装範囲を丁寧に塗り進めます。早く塗り終えた生徒は、周りの生徒を手伝う姿もみられました。

道路側は大人のボランティアが担当し、能代維持出張所の職員と維持業者に巡視を行っていただきながら、安全に作業することが出来ました。あいにくの天候でしたが、皆さんのおかげで200mほどの木製防護柵がきれいになりました。

参加した中学生からは、「初めての作業なので難しい。」
「父親が塗装の職人なので、塗装作業を体験できて嬉しかった。」

一般ボランティアの方々からも「塗り進むにつれ楽しくなり、時間を忘れてしまった。」「木都のしろの景観美化に貢献でき、有意義でした。」という声がありました。来年度以降もこの取り組みを続け、美しい町並みを保っていきたいですね。

文：長崎 勇



10月4日の南中学校での事前授業では、木材利用や塗装の大切さを学びました。



作業前に全員で記念撮影



生徒は歩道側(上)、大人は道路側(下)を塗装しました。



参加者には秋田スギ製のコースターが渡されました。